

春メロン赤肉新系統「ひたち交6号」、「ひたち交7号」品質検討会が開催されました

令和7年6月18日、農業総合センター園芸研究所において、生物工学研究所が育成した赤肉メロン新系統「ひたち交6号」、「ひたち交7号」品質検討会が開催され、鉾田管内の2JAから計4名の生産者が参加しました。鉾田管内では春メロンにおいて赤肉の新品種を求める声が多く、現地適応性試験を9か所で実施するなど、県が育成する新系統にも期待が寄せられています。

検討会では、県内主力産地である主要3JAで試作された赤肉新系統と既存赤肉品種を試食した後、有望性について意見交換が行われました。試作から得られた品種特性や次作の試作時期、産地が求める品種について様々な意見が交わされました。

既存赤肉品種との優位性についてはまだ検討の余地があり、今後も試作検討を行っていく予定となっているため、普及センターでは引き続き関係機関と連携し、新品種の導入に向けた活動を支援し、メロン生産者の所得向上に取り組んでまいります。

鉾田普及センター（成長産業）